

北陸麦・大豆サロン

開催日時

麦

令和8年
2月10日(火)
14:00～16:30

大豆

令和8年
2月4日(水)
14:00～16:00

開催方法

※事前申込制

オンライン(Microsoft Teams)

どなたでも気軽に
ご参加いただけます！

麦プログラム



2月10日(火) 14:00～

- ✓ 小麦「夏黄金」の生産拡大の可能性とは
- ✓ 活用できるスマート農業技術とは
- ✓ 北陸産麦の需要の可能性とは

1 生産者からの話題提供



株式会社アグリとくみつ
代表取締役社長

大岸 修一 氏
(石川県白山市)

石川県白山市で大麦及び小麦「夏黄金」を栽培。
特に排水対策に注力し、全圃場で額縁明渠、心土破碎を実施。
また、播種や追肥等にスマート農業技術を活用することで生産性向上を実現。
令和元年度全国麦作共励会 全国米麦改良協会会長賞を受賞。

2 実需者からの話題提供



新潟県醤油協業組合
理事長

佐田 直人 氏
(新潟県長岡市)

県産小麦・大豆を100%使用した醤油「郷土の実り」を製造。

収穫や醤油の仕込み体験等、独自のイベントを開催し、国産原料にこだわった醤油の需要を創出。



横井チョコレート株式会社
営業部

伊藤 晃 氏
(福井県福井市)

県産の小麦・大麦にこだわり、ラスクや麦チョコ、ポン菓子等を製造。

自社商品のほか、県産麦を使用したOEM商品として全国展開を行う等、需要拡大に貢献。

3 試験研究機関からの話題提供

「麦作の生産性向上のための栽培技術について」

農研機構中日本農業研究センター

「小麦品種「夏黄金」等に関する品種情報について」

農研機構東北農業研究センター

4 意見交換

申込方法は
裏面へ！



大豆プログラム



2月4日(水)14:00~

- ✓ 気候変動に対応した栽培とは
- ✓ 安定供給のための流通面の取組とは
- ✓ 需要あり！実需が求める大豆とは

1 国産大豆の生産等をめぐる状況について

農林水産省農産局穀物課

2 生産者からの話題提供



堺町生産組合

組合長

徳茂 順一 氏

(新潟県長岡市)

新潟県長岡市で集落の大豆転作組合として生産を担う。土壤診断に基づく資材散布等、収量向上に向けた取組に加え、畝間かん水や適切な時期に暗渠を閉じる等の気候変動の影響を踏まえた対応策を実施するなど、安定した単収の確保を実現。平成24年度全国豆類経営改善共励会 北陸農政局長賞を受賞。

3 実需者からの話題提供



北川製油株式会社
代表取締役社長

北川 保博 氏
(富山県射水市)

県産大豆の使用にこだわり、豆腐、豆乳、煮豆に加え、需要拡大のために消費者ニーズに対応した豆乳スイーツを製造。



互明商事株式会社
大阪支店

松川 茂生 氏
(大阪府大阪市)

国産大豆の安定供給と流通の円滑化を図ることを目的に、「東海・大豆コンソーシアム」としてストックセンターを令和6年に整備。豊凶差が大きい国産大豆の安定供給体制を構築。

4 試験研究機関からの話題提供

「大豆生産性向上のための栽培技術等の情報について」

農研機構中日本農業研究センター



5 意見交換

申込方法

下記のURL又は右のコードから申込フォームにアクセスして必要事項を記入の上、お申し込みください。

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/hokuriku/form/seisan/251219.html>

※お申込みによって得られた個人情報は、厳重に管理し、本イベントの運営に限り使用させていただきます。

今すぐアクセス!



参加無料

申込締切

令和8年 1月28日(水) 17:00

お問合せ先

北陸農政局 生産部 生産振興課 担当者：土井、石原 ☎ 076-232-4302(直通)